

新市場活性化推進計画～経営展望～ 全体像(骨子)

計画期間:平成27年度～31年度

計画の目的

久留米市中央卸売市場が今後も市民への生鮮食料品の安定供給を担うとともに、将来にわたって持続可能な市場運営を実現する。

現状と課題

中央卸売市場を取巻く環境の変化

- 消費動向の変化
- 卸売市場経由率の低下
- 市場取扱高の減少
- 中央卸売市場の再編

久留米市中央卸売市場の現状と課題

- 市場取扱高の減少
- 市場関係者の減少
- 大型量販店への対応
- 集荷対策
- 市場会計収支

久留米市中央卸売市場の特徴を活かす

立地条件

- 青果部の視点では産地市場と消費地市場の両面を有している
- 水産物部の視点では内陸部に位置した消費地市場である

内部環境と外部環境の把握(抜粋)

内部環境	外部環境
■強みの把握 【共通事項】 ・高速ICに近く交通の利便性が高い 【青果部】 ・農業生産地域に立地 【水産物部】 ・市場関係者の団結力が強い	■機会の把握 【共通事項】 ・安全・安心志向の高まり 【青果部】 ・地産地消志向の高まり 【水産物部】 ・和食文化についての評価の高まり
■弱みの把握 【共通事項】 ・大型量販店の本社が市内にない ・市場からの情報発信力が弱い ・取扱高が減少し卸売業者の経営力が弱まっている 【青果部】 ・卸売業者と仲卸業者の連携が弱い ・卸売業者と生産者の連携が弱い 【水産物部】 ・産地(海)が遠い	■脅威の把握 【共通事項】 ・人口減少、少子高齢化の進展 ・拠点市場が近く(福岡市)に存在 ・大型量販店による拠点市場からの一括仕入れの拡大 【青果部】 ・消費者の果実離れ 【水産物部】 ・消費者の魚離れ

3つの目標像

生産者と消費者を結ぶ架け橋として機能する市場

消費者・需要者から支持される市場

生産者・出荷者から信頼される市場

生鮮食料品の基幹的な流通拠点として持続する市場

どう取り組むか【基本戦略と事業施策】

消費者・需要者を起点とした事業展開

- 消費者ニーズ調査等の実施(共通事項)
- 新たなニーズへの対応(青果部・水産物部)

販売力の強化

- 大型量販店への対応(共通事項)
- 新たな顧客の確保(共通事項)
- 地場農産物の販売強化(青果部)
- ブランド品の販売強化(青果部)
- 市場外販売の強化(水産物部)

市場からの情報発信

- 市民への市場開放(共通事項)
- 安心安全な供給体制のPR(共通事項)
- 旬の味覚の情報発信(共通事項)
- 中心市街地での情報発信・販売拠点の設置(青果部)
- 道の駅くるめでの水産物販売(水産物部)
- お魚調理教室等の開催(水産物部)
- 児童・生徒への魚食普及の取り組み(水産物部)

集荷力の強化

- 市場間連携の強化(共通事項)
- 地場農産物の集荷強化(青果部)
- 生産者と市場関係者の情報交換(青果部)
- 産地市場からの集荷強化(水産物部)

健全かつ効率的な市場運営

- 経営基盤の強化(共通事項)
- 小売店への支援(共通事項)
- 売買参加者の活性化(共通事項)
- 関連事業者の活性化(共通事項)
- 地方卸売市場への転換の検討(水産物部)

関係者による改革意識の高揚

- 人材の育成(共通事項)
- 卸売業者と仲卸業者・売買参加者の意見交換(共通事項)

適正な施設整備

- 流通形態にあった施設の整備(共通事項)
- 老朽化施設への対応(共通事項)